

広島県鉄構工業会  
創立50周年記念  
式典に100人出席

協同組合広島県鉄構工業会（理事長・山本泰徳、ステントス社長）は25日、広島市内で定時総会および創立50周年記念式典・祝賀会を開催した。当日は組合

員をはじめ、来賓の湯崎英彦広島県知事、永井毅全国鉄構工業協会会長、白田学日本製鉄中国支店長らを含め約100人が参加した。

式典冒頭では組合活動50年間の足跡を振り返る記念映像が映し出された。山本理事長は「50年の歴史は並大抵ならぬ先人の努力の賜物。業界は二世、三世の世代に変わりつつあるが、新しいことに取り組む前に歴史を学び、理解することが肝要」と先人への感謝を述べた。続けて「鉄骨加工業界は下請けではなく、我々なしには日本にビルは建たない。我々が



山本理事長が挨拶

日本の建築のリーダーだとの強い気概を持ってまい進しよう」などと挨拶した。

式典では気迫がこもった空手の演武が披露され、組合功労者を表彰した。青年部の遠藤健太郎会長は、将来の広島県鉄骨業界の望ましい姿に向けて掲げた「未来宣言」を高らかに発した。